

令和7年度

大原小学校第 1 回学校運営支援協議会

日時: 令和7年6月23日(月)

10:00~12:00

場所: 大原小学校 校長室

次 第

進行: 副校長

委嘱状交付

1. 開会のことば

2. 令和7年度 委員紹介

3. 校長挨拶

4. 説明及び協議

(1) 組織について

学校運営支援協議会とは

(2) 各学年の学習の様子を参観

(3) 令和7年度学校運営支援協議会 役員選出について

(4) 令和7年度学校運営支援協議会 推進予定について

(5) 令和7年度学校経営方針について

(6) 地域での子どもたちの様子について

(7) その他

5. その他

6. 閉会のことば



大原小学校学校運営支援協議会

コミュニティ・スクールとは？

～「地域とともにある学校づくり」をめざして～



大原小学校
校長 松田 薫

コミュニティ・スクールとは

そもそも「コミュニティ・スクールとは！？」

コミュニティ・スクールとは、

学校運営協議会を設置している学校」のことを指します

これでは、なぜ学校運営協議会を設置する必要があるのか？

その背景を見てみましょう。



27年12月 中央教育審議会 答申

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の
連携・協働の在り方と今後の推進方策について

これからの学校と地域の目指すべき連携・協働のすがた＞

「**地域とともにある学校**」への転換

子どもも大人も学びあい育ちあう教育体制の構築

「**学校を核とした地域づくり**」の推進→地域活性化

学校も
地域も
ともに
元気に

背景と「目指す子ども像の共有」

想される社会の変化

スピード化

- 1秒でダウンロードできる文字の情報量 新聞1/4日分→3.5億年分
- 東京～大阪間 2.5時間 → 1時間（現在と30年後の比較）

ロボット化

- 2011年の小学校入学時の65%は、大学卒業時、今は存在しない職業に就く
- 10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い

長寿化

- 日本人の平均年齢 約46歳 → 約53歳
- 日本の65歳以上の割合 約25% → 約40%（現在と30年後の比較）

人口減少

- 日本の人口 約1億2700万人 → 約1億1100万人
- 岩手の人口 約128万人 → 約95万人（2015年と2040年の比較）

世帯の多様化

- ひとり親世帯 約275万世帯 → 約477万世帯
- 単独世帯 約993万世帯 → 約1841万世帯（2015年と2040年の比較）

学校教育の課題

或との共有

社会を切り拓くための
資質・能力の育成

教科などの横断的な
学習の充実

「社会に開かれた教育課程」

教育課程の編成
教育活動の展開

カリキュラム・
マネジメント

学校教育目標をふまけ、
横断的視点で、教育課程
を組織的に配列する

子どもたちの姿と地域
現状を捉え教育課程の
成、実施、評価する

教育内容や活動に必要な
人的・物的資源を効果的
に組み合わせる

地域や社会に目を向け、接点を持ち、地域とつながりを持ちながら

社会教育の課題

人づくり・つながりづくり・地域づくり」

持続可能な地域づくり

人口減少、高齢化、グローバル化、貧困、つながりの希薄化等

生涯学習社会の実現

人生100年時代 Society5.0などの変化への対応

かれ、つながる社会教育の実現

住民の主体的な参加のためのきっかり作り

ネットワーク型行政の推進

地域の学びと活動を活性化させる人材の活躍

社会情勢の変化やそれによる学校教育・社会教育の課題を解決すべく運営協議会制度の導入を推進。

「**地域とともにある学校づくり**」…学校教育の視点

「**学校を核とした地域づくり**」…社会教育の視点

手県の場合は、**教育振興運動**という地域に根付いた既存組織・活動があるので、コミスクと一体的に推進しやすい環境がすでにあった！
いわて型コミュニティ・スクール

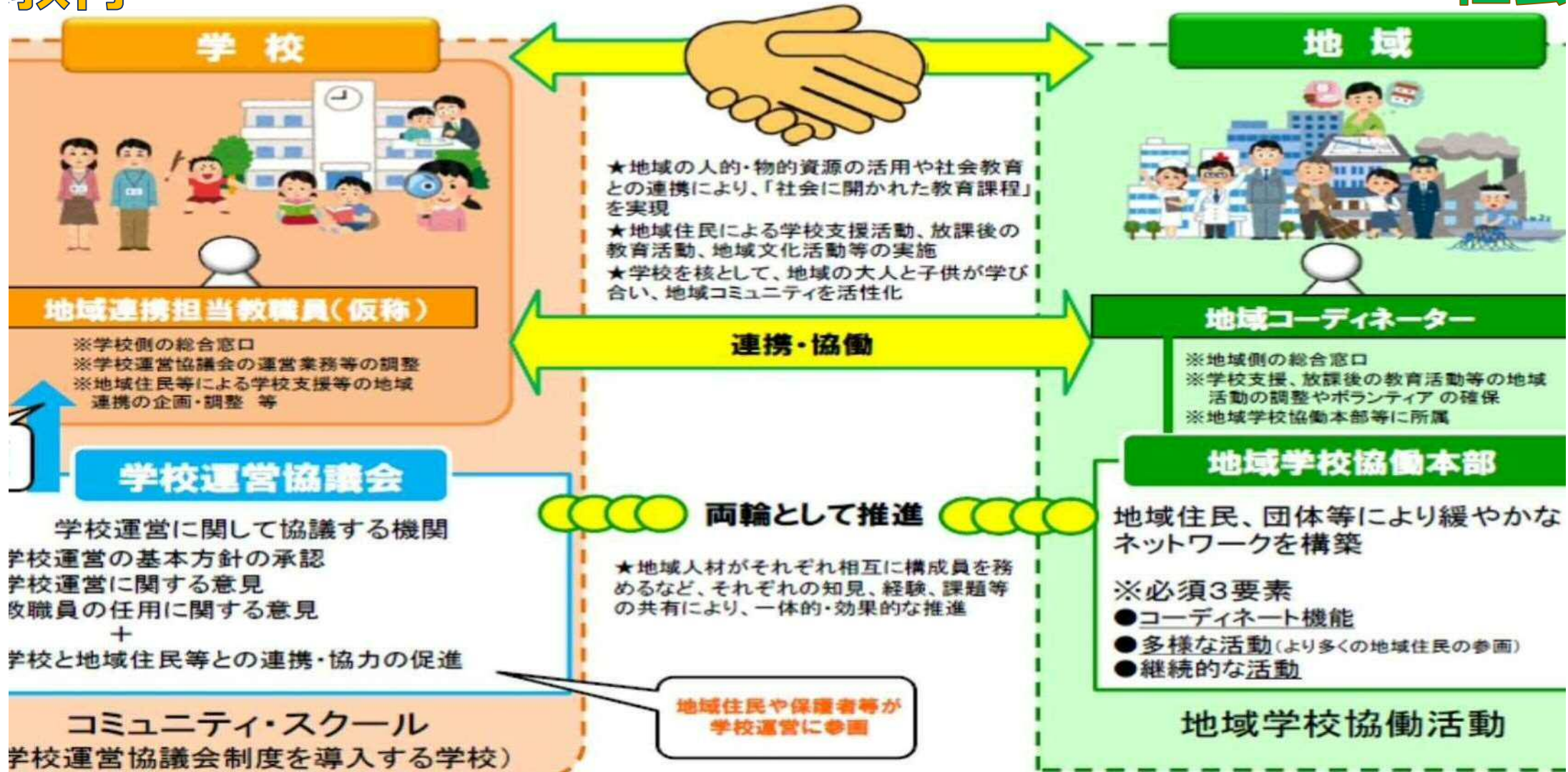
県では、どちらの組織も新たに作る必要があったため、
一体的推進にかかるスタートは時間がかかった

連携・協働とコミュニティ・スクール

ーパートナーシップの構築による新しい時代の教育、地方創生の実現ー

教育

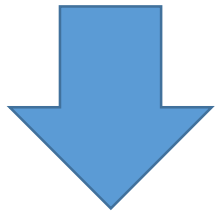
社会



つまり…コミスクと地域の関係性は？

学校運営協議会

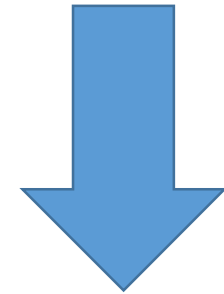
学校運営の基本方針の承認
学校運営に関する意見
教職員の任用に関する意見



学校運営協議会は
協議する場

地域団体
教育振興運動
PTA など

・地域のさまざまな団体において、
地域の実情に応じた活動を展開



地域や教振は
実践・活動する場

つまり…コミスクと地域の関係性は？

学校運営協議会

地域団体
教育振興運動

重要なことは、
「**目指す子ども像の共有**」を
図りそれを**目指し協議し、**
活動すること！

協議する場

実践・活動する場

地域学校協働活動（学校支援地域本部から地域学校協働本部へ）

地域とともにある 学校づくり

地域に求められる人材育成を
地域と担いあえる学校へ

- 信頼向上 学校経営改革
- 教育内容の充実・改善
 - ・社会に開かれた教育課程
 - ・主体的、対話的で深い学び
- 教職員の働き方改革
 - ・子供と向き合う時間の確保

学校教育
学校活動

地域との交流から、
地域の特色を生かした学校づくりへ

学校を核とした 地域づくり

☆地域の発展を担う人材育成を
学校と担いあえる地域

- 人口減少対策
- 人づくり、ものづくりの推進
- 次世代育成をきっかけに
 - ・地域住民をつなぐ

社会教育
地域活動

社会関係資本

☆学校応援から、
地域の教育力を活かした次世代育成

win-win

地域学校協働活動

地域学校協働活動



地域に出て郷土学習

地域の人たちと
地域課題解決



地域行事に参画して
一緒に地域づくり



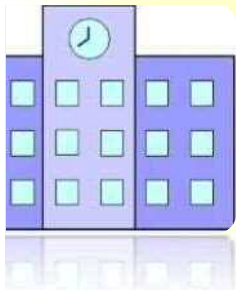
地域学校協働 活動とは

幅広い地域住民の参画を得て

地域全体で子供たちの学びや成長を支え

「学校を核とした地域づくり」を目指し

地域と学校がパートナーとして行う活動

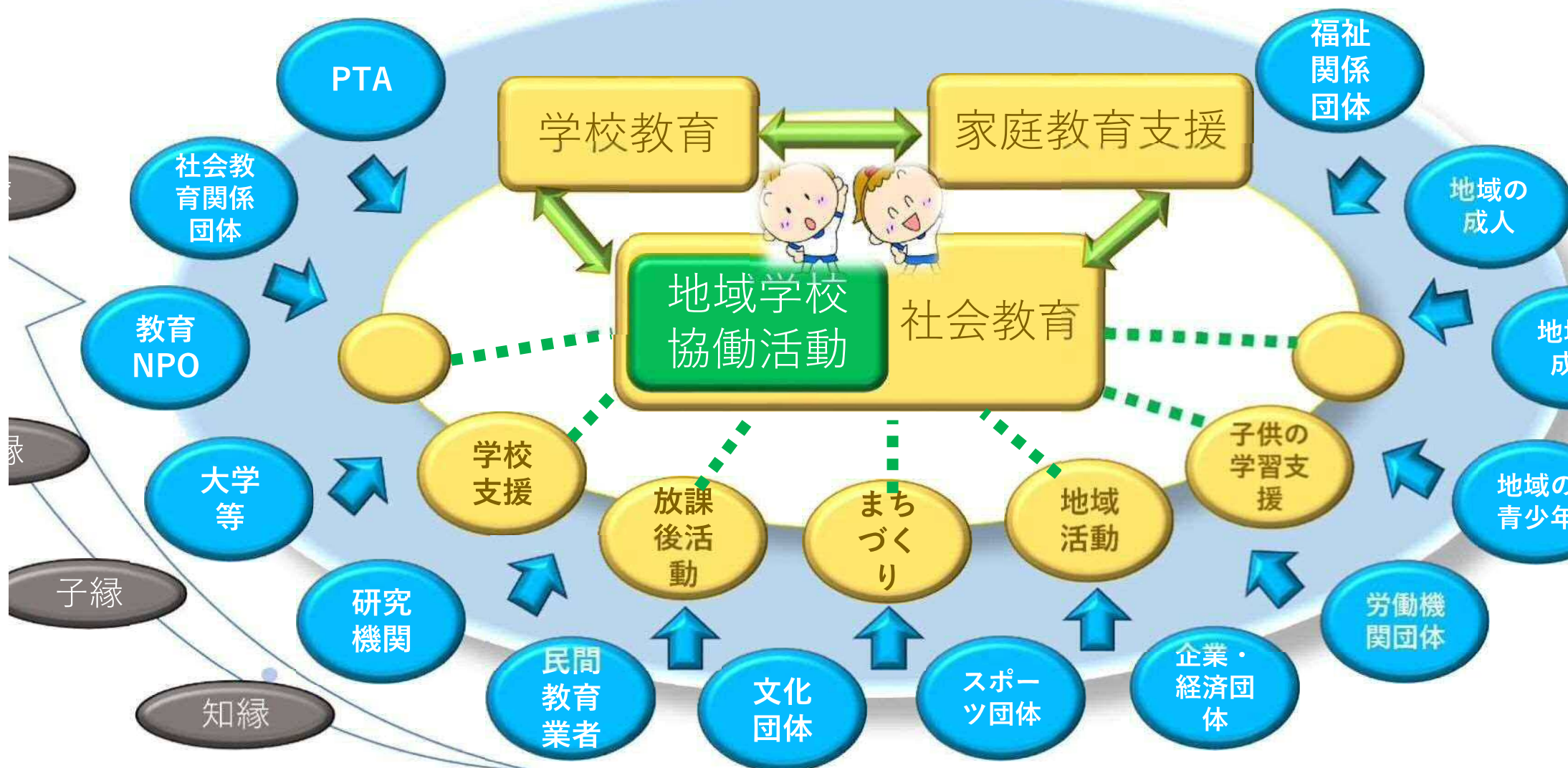


地域の資源を理解し、魅力を発信する学習
地域活性化のための方策を考え、実行する学習
地域について地域住民から学ぶ学習
地域の産業、伝統、文化、自然等にふれ、
地域課題に取り組む学習

- ・放課後や休日などの多様な体験活動
- ・登下校の見守り、学校環境整備、読み聞かせ等の学校への協力
- ・地域住民による学習支援
- ・地域行事 ボランティア活動等

地域ぐるみで子どもを育む

多くの、より幅広い層の地域住民、諸団体等が参画し、目標を共有し、ゆるやかなネットワークを形成



「知縁」と「子縁」 「志縁」に加え新しい「地縁」＝学校を核とした地域づくり

おわりに

学校を取り巻く課題、地域の課題は変化しています。それを加速したのは新型コロナウイルス感染症も要因だったと思われます。

「学校の先生は風、地域は土」とよく言われます。変化し続けるた
変わらないのは**地域**です。地域が一体となって諸課題に対して取り組むこと、子供たちが地域で学び体験することは、「生きる力」を育むことにつながり、そして、今後の一関を、大原地区を担う子供たちを育てていくことにもつながります。



コミュニティ・スクールの理念

地域とともにある学校づくり…学校教育の視点

学校を核とした地域づくり…社会教育の視点

学校の課題と地域の課題を一緒になって考え、協議し、決めていく
て、決めたことを自分ごととしてとらえ「地域とともに」「学校
として活動していく。そこで重要なのは、視点は「**子どもたち**
ることです。コミュニティ・スクールで「目指す子ども像」を共
それに向かい学校・地域が一丸となって様々な活動に取り組むこ
学校と地域の諸課題の解決につながります。



「**目指す子ども像の共有**」をCSで確認し、**地域**ではぐくむ
それぞれの立場で**無理なく・楽しみながら・継続性のある活動**を展開
子どもたちの笑顔あふれる学校と地域をつくっていきましょう！



大原地区

令和7年度 大原小学校 学校経営方針

【大原の子の強み】

- 明るく素直で、仲間と協力しようとする子どもが多い。
- 学年や男女、障がい等を含めた違いをこえて、仲良くできる。
- よく聞き、指示を受けて学習する態度が身についている。
- 交通安全に気をつけたり、避難訓練に真剣に参加したりできる
- 地域の人材が豊富で協力をいただける地域性
- 伝統ある大原地区を守り育てようとする団体が多い。

学 校 教 育 目 標

思 いや る 子

誘い合い、優しい心で友達をつくれる子

明るくあいさつする子

地域と関わり、自他のよさに気付く子

2025 テーマ

仲間・地域でつくる未来輝く大原小

考 える 子

授業・スマイルプリント・家庭学習に本気で取り組む子

学び方を身につけ、進んで学ぶ子

進んで書いたり、話したりしながら表現できる子

き た え る 子

誘い合って外で元気に遊ぶ子

健康安全に気をつけ、元気に生活する子

進んでメディア時間を守る子

笑顔と希望の学校づくり

1 子どもが生き生きと学び、成長の実感が味わえる学校

2 地域と一体となり、協働して歩む学校

3 職員が情報共有に努め、同一姿勢、同一步調で教育にあたる学校

楽しく働きがいのある職場

- ◆子どもの心を見て、子どもの成長を喜び合う ◆子どもを伸ばす確かな指導技術
- ◆持ち味を発揮し協働でパワーアップ ◆チームワーク ◆率先してアイデア

◆目指す子ども・学校の姿◆

2025

みんなでつくる あったか大原小

確かな学力・豊かに表現

毎日いっぱい体を動かす

◆ 手立て(仕組みづくり) ◆

みんなでつくる あったか大原小

～ 誘い合う雰囲気づくり・明るい挨拶 ～

- ① 「仲良し遊び」の継続、可視化できるあいさつの取り組み
- ② 関わり合って活動できる授業づくり、行事づくりの支援
- ③ 地域との関わりを通して自他のよさに気付く取り組み

確かな学力・豊かに表現

～ 一人一人の確かな学力向上 ～

- ① 主体的な学び合い・学びの成果を確認する振り返りができる授業改善
- ② スマイルプリントでどの子も学び残しのないできた実感
- ③ 教科や総合の学びを進んで表現する

毎日いっぱい 体を動かす

～ 誘い合う集団づくり・生活習慣の徹底 ～

- ① 「仲良し遊び」と環境づくり、誘い合いでの集団遊び
- ② 「親子でがんばり週間」による、家庭と連携した「早寝早起き朝ごはん」「徒歩登校」「メディアコントロール」の取組でよりよい生活習慣づくり

愛情ある子どもも理解 家庭・地域との連携・協力

大原小学校の教育

学校と家庭、地域が力を合わせて、大原の子どもたちを育ててまいりたいと思います。
お声がけと見守りに、ご協力をお願いいたします。

学校教育目標

考える子 思いやる子 きたえる子

まなびフェスト

思いやる子

誘い合い、優しい心で友達をつくれる子

明るくあいさつする子

地域と関わり、自他のよさに気付く子

2025 テーマ

仲間・地域でつくる未来輝く大原小

考える子

授業・スマイルプリント・家庭学習に

本気で取り組む子

学び方を身につけ、進んで学ぶ子

進んで書いたり、話したりしながら

表現できる子

きたえる子

誘い合って外で元気に遊ぶ子

健康安全に気をつけ、

元気に生活する子

進んでメディア時間を守る子

笑顔と希望の学校づくり

「自分もできる成長の実感」

「友達と地域の方とのふれあいの実感」

手ごたえを、子どもたちに！



2025 大原小学校 まなびフェスト

学校の取り組み

思いやる子

- ① 縦割り「仲良し遊び」などで全校児童の交流を促し、大原小の宝「仲良パワー」をさらにアップさせます
- ② 互いに温かい言葉をかけたり、感謝の気持ちを伝え合ったりする活動を行います
- ③ 地域のひと・もの・こととの出会いを通して、自他のよさに気付く活動を行います

考える子

- ① 授業での「課題解決の活動」と「考えの交流」により、主体的に学習し、学力の向上を図ります
- ② 朝学習やスマイルプリント、家庭学習を効果的に組み合わせ、一人一人の確かな学力の向上を図ります
- ③ 学習したことをタブレット等を効果的に活用し、進んで書いたり、話したりしながら、表現力を高めます

きたえる子

- ① 誘い合って遊ぶことができる環境と雰囲気づくりに力を入れます。
- ② 家庭と協力して「早ね・早起き・朝ごはん」「歩いて登校」「メディアコントロール」等に取り組み、よりよい生活習慣の確立を図ります
- ③ めあてをもって運動に取り組む活動に力を入れます

子ども 家庭 地域 学校



めざす子どもの姿（目標）

みんなでつくる あったか大原小

誘い合う雰囲気づくり・明るい挨拶

学校評価・児童のふりかえり
(縦割り班での協力 90%)
(明るい挨拶・温かい言葉遣いができる 90%)
(地域のよさがわかる 90%)

確かな学力・豊かに表現

一人一人の確かな学力向上

学校評価・児童のふりかえり
(授業で話し合う活動ができる 90%)
(単元テスト・CRT 全国平均以上の割合 80%)
(毎日、家庭学習・家庭読書をする 90%)

毎日いっぱい体を動かす

誘い合う集団づくり・生活習慣の徹底

学校評価
児童のふりかえり
(誘い合って遊ぶことができる 90%)
(居間8ルール、メディアコントロール 80%)
(進んで運動に取り組む 80%)

家庭の取り組み

明るいあいさつ ひびく大原

「おはようございます！」
「こんにちは！」
「さようなら！」
「行ってらっしゃい！」
「行ってきます！」

明るいあいさつを
家庭・地域でかわします



時間を決めて学習・読書

家庭学習と読書に集中できるようにします。宿題や読書の様子を見て褒めます

<時間のめやす>

家庭学習

家庭読書

1・2年 20分以上
3・4年 40分以上
5・6年 60分以上

全学年
毎日 10 分以上



よく動き・よく食べ・よくねる

「早ね・早起き・朝ごはん」
「居間8ルール」「メディア使用時間(平日1時間以内)を守る」を大切にして、よりよい生活リズムをつくります
健康な心と体づくりをめざし
500メートルは「歩いて登校」させます

学校や児童会、PTAから取り組みを提案します。

力を合わせて、地域の宝、大原の子を育てましょう！